

平成28年 第11回

教育委員会定例会会議録

とき 平成28年11月22日

品川区教育委員会

平成28年第11回教育委員会定例会

日 時 平成28年11月22日(火) 開会：午後3時30分  
閉会：午後4時10分

場 所 教育委員室

出席委員 委員長 菅谷 正美  
委員長職務代理者 鈴木 敏夫  
委員 富尾 則子  
委員 海沼 マリ子  
教育長 中島 豊

出席理事者 教育次長 本城 善之  
庶務課長 品川 義輝  
学校計画担当課長 篠田 英夫  
学務課長 有馬 勝  
指導課長 熊谷 恵子  
教育総合支援センター長 村尾 勝利  
品川図書館長 木村 浩一  
統括指導主事 山本 修史

事務局職員 庶務係長 小林 則雄  
書記 和田 祐磨  
書記 高下 聖矢

傍聴人数 1名

その他 品川区教育委員会会議規則第16条の規定に基づき、会議の一部を非公開とした。

次第

- 第64号議案 区固有教員の任免等について（昇任）
- 第65号議案 幼稚園教育職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の立案請求について
- 第66号議案 学校教育職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の立案請求について
- 第67号議案 都費教職員の任免等に関する内申について
- 報告事項1 平成29年度入学希望申請の状況について
- 報告事項2 平成28年度インフルエンザ様疾患による臨時休業措置状況について

平成28年第11回教育委員会定例会

平成28年11月22日

【菅谷委員長】 ただいまから、平成28年第11回教育委員会定例会を開会いたします。

署名委員に富尾委員、海沼委員を指名いたします。よろしくお願いいたします。

本日は傍聴の方がおられますので、お知らせいたします。

まず、会議の持ち方ですが、日程第1、第64号議案 区固有教員の任免等について(昇任)、日程第1、第67号議案 都費教職員の任免等に関する内申についての会議の持ち方についてお諮りいたします。本件は人事に関する案件ですので、品川区教育委員会会議規則第16条の規定に基づき非公開の会議といたしますが、ご異議ありませんか。

(「異議なし」の声あり)

【菅谷委員長】 異議なしと認め、本件については、全ての日程の終了後に審議いたします。

それでは、本日の議題に入ります。

日程第1、第65号議案 幼稚園教育職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の立案請求について、並びに、日程第1、第66号議案 学校教育職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の立案について、以上、資料と基本則が同じでございますので、一括して審議したいと思います。説明をお願いいたします。

指導課長。

【指導課長】 それでは、幼稚園教育職員の給与に関する条例の一部を改正する条例、及び、学校教育職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の立案請求についてご説明いたします。教育委員会資料2から3となっております。資料1 ページ目をごらんください。職員の給与改正等についてという資料でございます。

両案につきましては、本年10月11日に行われました特別区人事委員会勧告を踏まえ、幼稚園教育職員及び区固有職員、固有教員の給与に関し、所要の改正を行うものであります。

まず、改正の内容といたしまして、給料表の改正でございますけれども、幼稚園教育職員につきましては、特別区人事委員会の勧告に基づき、公民較差分、月額給与プラス584円、率にしてプラス0.15%の解消を図るため、全体として引き上げ改定を行うものでございます。改正後の給料表につきましては、本年4月支給の給料よりさかのぼって適用することとしております。

なお、学校教育環境、すなわち、区固有教員にかかわるものでございますけれども、こちらにつきましては、特別区人事委員会勧告に基づき、東京都人事委員会勧告に沿って、公民格差分、月額給与プラス81円、率にしてプラス0.02%と極めて小さいため、改定を見送っております。

続きまして、特別給の年間支給月数の改定でございます。この資料の1ページ目の下段になります。こちらにつきましても、特別区人事委員会の勧告に基づき、特別給の年間支給月数の現行の4.3月から4.4月に0.1月分引き上げるものであります。今回の引き上

げ分につきましては、民間の支給状況を勘案し、その全てを勤勉手当に割り当てることとしております。

なお、こちらの改正につきましては、幼稚園教育職員及び学校教育職員、すなわち区の固有教員全てに共通するものとなっております。

最後に、両条例の施行日につきましては、公布の日から施行することとし、給料表にかかわる改正規定は平成28年4月1日より適用いたします。なお、本条例の議会議決後には、改めて関連規則等のご審議をお願いする予定でございますので、どうぞよろしくお願いいたします。

私から以上でございます。

**【菅谷委員長】** 質疑はございませんでしょうか。質疑はよろしゅうございますか。

それでは、第65号議案及び第66号議案について採決いたしますが、ご異議はございませんか。

(「はい」の声あり)

**【菅谷委員長】** それでは採決いたします。本件は、原案どおり可決することにご異議はございませんか。

(「異議なし」の声あり)

**【菅谷委員長】** 異議なしと認め、本件は、原案どおり可決することと決定いたします。

次に、日程第2、報告事項1 平成29年度入学希望申請の状況について説明をお願いいたします。

学務課長。

**【学務課長】** それでは、私からは、平成29年度区立学校の入学希望申請の状況についてご報告いたします。資料5をごらんください。

まず、1ページ目でございます。小学校・義務教育学校の前期課程、新1年生の全体の状況でございます。小さな字で恐縮ですが、左から29年度、真ん中が28年度、右側が27年度と3カ年分をお示ししてございます。

一番左の枠、29年度の枠の合計欄、まず下をごらんください。住民基本台帳上の10月1日現在の就学予定者数は、2,806名。これに対して、学校希望選択をされた方は710名で、希望申請の率は25.3%です。昨年と比べ、住基人口は2名の減、希望申請率は2.6ポイントの減というふうになっております。

次に、この表の見方でございますけれども、まず一番上の城南小学校を例にご説明いたします。学校名の右側、74は、10月1日現在、城南小学校の通学区域に住民登録のある新1年生の人数でございます。

その右、希望申請数の増、9は、城南小学校の学区外から城南小学校を入学希望された人数。その右、減のマイナス23は、住民登録のある74名のうち、他の学校を希望された人数です。

その右、60は、住民基本台帳上の人数をもとに、今、申しあげました学区外からの希望、それから、学区外へ希望する人数を合計した人数ということで、この60名が城南小学校への入学希望人数という形になります。その右の60、これは目安ではございますけれども、入学の受け入れ枠でございます。過去の入学者数や教室数等を勘案して設定しております。既に新入学生の保護者宛に送付しました学校案内パンフレットにもこの受け入

れ枠というのは示してございます。城南小学校の場合、たまたま入学希望者数と受け入れ枠が60と同数となったものでございます。城南小学校の場合は、受け入れ枠内に収まるということで、抽選は行いません。

同じようにごらんいただきまして、4番目の御殿山小学校を見ていただきたいのですが、こちらのほうは11月1日現在の学校の人数が114名で、学外からの希望申請が45名、反対に、学区外への希望をされた方が11名ということで、合計148名が入学予定者数となっております。この入学予定者数は、今後、転入、転出、また私立学校への入学等によって変動していきますけれども、受け入れ枠40人を超えておりますので、抽選を行うという形になります。

今年度の小学校の抽選校は、今、申し上げました4番の御殿山小学校から37の豊葉の杜学園まで黄色で示した14校で、昨年より3校の増となっております。

また、7の芳水小学校の受け入れ枠90に対して、入学希望者が89名であるにもかかわらず抽選校とした理由につきましては、学区外に希望している児童が50名いますけれども、そのうち、抽選にうまく入れないで、また、学区のところに戻ってくる、そういう児童がおおよそ10名程度はいるだろうと。芳水小学校に戻ってくるということを見込んで抽選としているところでございます。

そのほか、入学希望者が35人以下で、単学級と見込まれる学校は4校で、昨年の希望申請時の6校に比べますと2校の減という形になっています。

28年度、27年度の表につきましては、それぞれ一番右の欄に4月1日現在での入学者数を記載しています。

次に、2ページ、中学校・義務教育学校の後期課程の新7年生の状況についてご説明いたします。同じように29年度の合計欄をごらんください。

10月1日現在の住民基本台帳上の人数は2,322名で、昨年より21名の減。希望申請数は611名、26.3%と、6.9ポイントの減となっておりますが、平成29年度の表の希望申請数の右側に、義務教育学校学区外進級数という欄を、今回、新たに設けてございます。東海中で申し上げますと、マイナス41と表示している欄でございます。

義務教育学校の学区外進級数とは、表の下の米印欄でも注意書きをしてございますけれども、義務教育学校6年生の、現在、通学区域外の在学者で、そのまま在籍校へ進級する生徒の人数という形になります。従来、小中一貫校では、そのまま進級する場合であっても、居住地が学区外であれば、希望申請の提出を求めていました。しかし、義務教育学校では9年生修了までを就学指定しているということでございますので、既に在学している義務教育学校の7年生については、希望申請によらずそのまま進級できることとなります。これにより、29年度からは在籍校以外の学校を希望する場合のみ、希望申請の提出を求める方法に変更いたしました。この欄の合計は、出入りの関係で、合計欄を見ていただくとゼロとなっておりますけれども、該当者は127名というふうになります。

これらを含めた昨年と同様ベースで見ますと、611名と今申し上げた127名を足して、738名となります。昨年ベースの割合で申し上げますと、31.8%となります。

受け入れ枠と過去の入学者数を勘案した結果、抽選校は昨年同様、9番、戸越台中と10番、日野学園の2校となりました。

なお、中学校は例年3割程度が私学等へ進学をいたします。真ん中の枠の28年度の合

計欄を見ていただきたいと思いますが、住基人口2,343人のうち、実際の入学者は1,588名でございます。今年度もこれらを考慮いたしますと、区立学校への入学者数は1,600人程度と見込んでいるところでございます。

なお、抽選の結果につきましては、次回の本委員会で報告をしたいと思います。

私からの説明は以上でございます。

【菅谷委員長】 質疑はございませんか。

どうぞ、鈴木委員。

【鈴木委員長職務代理者】 小学校については、希望申請者は少し割合が減ってきたと。

【菅谷委員長】 学務課長。

【学務課長】 そうですね。この数字で見るとおり、ほとんど在籍者数は、住民登録上の人数は変わってございません。ただし、去年は783名ということでしたけれども、今年710名ということで、その分、割合的にも減っているというようなこと。

【鈴木委員長職務代理者】 若干。

【学務課長】 減ってきているという形になります。

同じように、中学校のほうも、昨年ベースで見ますと、31.8%ということで、こちらも去年の33.2から見ると、若干、また下がってきているということで、ここ3年間見れば、少しずつ下がってきている傾向があるということがいえると思います。

【鈴木委員長職務代理者】 これは何を意味するかとかいう分析はまだですか。

【菅谷委員長】 学務課長。

【学務課長】 細かい分析というのは、これから希望申請の理由をこの段階でとっていますので、それは希望の理由だけがわかるという形になりますけれども、やはり地元の学校が頑張っていて、地元の学校を選択というか、あえて外に行かなくてもいいというふうに考えている保護者というか、世帯が少しずつ増えてきている傾向があるのかなというふうには捉えられるなかなと思います。

【菅谷委員長】 私、一つ聞きたいんですが、28年度と29年度を比較して、まだ結果が出ていない、最終結果じゃないから、強引な比較になるかもしれませんが、多分、28年度、この結果ですと、いわゆる小学校入学段階の単学級の学校が4校だと。それに対し、今、これを見ますと、ちょっと増えるかなという感じがするんですね。何が増えるかという、単学級であることが増えるということはあまりよくないなという感覚を持っているんですね。できれば2つの学級があると。それから、先のことを考えたときに、非常にいいのかなという感じがするんです。

数字だけを問題にするのはどうかとは思いますが、11番の鮫浜なんですよ。いわゆる住基表の中に28年度は65人。それに対し、今年、74ですから、プラス9ですよ。入ってくる人がもっと増えるんだという、そういう予想は、住基表にあればするんですが、それに対してあまり増えていないと言いますか、予定者数が、実数とちょっと違うというのはよくわかるんですけども。ただ、30だったのが37になったことで、今年29から36になる可能性は高いかなという感じもするので、36になれば2学級という形になると思います。

これのあやというのか、結果が出てこないから何とも言えないんですが、どちらかといえばなるべく、単学級は避けたいなという気持ちがあるので、なかなか難しいところなん

ですけれども、ある意味では悩ましい部分もあるかなと思います。

特に、今年の抽選校が多い感じがするんですね。それは何かというか、なかなか難しいとは思いますが、それぞれの特色があって、やっぱりいいと言いますか、極端な形での増減はないなと思うんですけれども、抽選校が増えたなというところには、学務課長としては何かお考えありますでしょうか。

学務課長。

【学務課長】 まず、鮫浜ですけれども、これ、表面上29となっておりますけれども、今の段階で、鮫浜のほうは、48人が外の学校を希望しておりますけれども、その学校が、立会小、浜川、日野、品川というところが主なところでして、ここが軒並み抽選校になっておりまして、多分、その抽選から入れなくて、学区戻りの学校が出てくるであろうということで、場合によっては、これは、単学級ではなくて、2クラスになる可能性も十分にあるのかなというふうに見ております。

それから、昨年11校に対して、今年14校ということで、抽選校が増えたということなんですけれども、実際には、まず、城南小学校が昨年抽選校だったんですけれども、見てのとおり、昨年93に対して74ということで、住基人口が減っているために城南小学校が抽選でなくなったということです。

ということで、今回、昨年抽選でなかったのに今年抽選になったという学校は4校ございます。

上から行きますと、まず山中小。これは初めてでございます。山中小は、住基の人口は3名程度しか増えていないんですけれども、希望が7名増えたということ、合計10名増えているというような関係で、昨年も55ということで、60ぎりぎりのところで動いていたということがありまして、抽選校になりました。

それから、一つ飛んで14番の浜川小。これも初めて抽選になってございます。これが住基を見ますと、139、昨年105ということで、ここは地元の住民基本台帳上の人数が増えている。プラス、希望も8名増えているということでございます。

それから、ずっと下のほうへ行きまして、小山台小。これは過去にはありましたけれども、ここは住基が61、昨年が42ということで、約20名増えている。

それから、36番の品川学園ですね。過去には抽選していました。ここも希望が8名、外に出ていこうという人が5人減っているというようなことで、差し引き13名増えているというようなことで、全体の希望者数は減ってはいるんですけれども、そういった要因で抽選校が少し増えてきたというようなことになっているというふうに、今、とっています。

【菅谷委員長】 ありがとうございます。ほかに質疑はございますでしょうか。よろしゅうございますか。

それでは、平成29年度入学希望申請の状況について、よろしいでしょうか。

(「はい」の声あり)

【菅谷委員長】 では、本件は了承いたします。

次に、日程第2、報告事項2 平成28年度インフルエンザ様疾患による臨時休業措置状況について、説明をお願いいたします。

学務課長。



【学務課長】 それでは、28年度のインフルエンザ様疾患による臨時休校ということで、資料6をごらんいただきたいと思います。

今年度、1番の荏原六中というのは昨年度のシーズンのものということで、今シーズンに入りまして、後地小学校2年1組で学級閉鎖があったということでございます。

11月16日から18日を学級閉鎖いたしまして、これが金曜日でしたので、あと、土、日。月曜日からは通常の業務になっているということでございます。

15日の段階で、若干、欠席者が増えてきたということと、16日の日にも具合が悪い子が出て、その日に返したということでございます。

後地小学校のこの2年1組は34名おりましたけれども、欠席者数が10名という形になりました。そのうちA型が7名ということで、34名のうちの2割を超えたというようなことで、16日から学級閉鎖をしたものでございます。

なお、この15日につきましては、具合の悪い子は、二、三名ですけれども帰しまして、そのほかの子は特に異常が見られないということで、繰り上げの下校はなしで、一応、給食を食べ、正規の授業を行ったということでございます。

翌週につきましては、もうほかの学級、学年にも拡散はしない状況でございまして、そのまま、通常どおりの学級、学校運営を行っていったということでございます。

説明は以上でございます。

【菅谷委員長】 よろしゅうございますか。これからどんどん増えてくる。

平成28年度インフルエンザ様疾患による臨時休業措置状況について、よろしいでしょうか。

(「はい」の声あり)

【菅谷委員長】 では、本件は了承いたします。

その他、ございますでしょうか。

【庶務課長】 特にございません。

【菅谷委員長】 それでは、次に、先ほど決定しましたとおり、非公開の会議を開きますので、傍聴の方はご退出をお願いいたします。

(傍聴者退出)